

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピールームひよひよ			公表日		令和8年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	*活動に合わせて、1階の療育室と地下の作業療法室を使い分けている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	*基準人員に加え、加配職員を配置し、こどもに合わせて支援できる体制を整えている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	*1日の流れを絵カードで掲示し、終了したもののから裏返しにしている。 *顔写真などを用いて誰でもわかりやすいようにしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	*毎日の清掃、玩具や室内の消毒、布団の洗濯を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	*体調不良やクールダウンが必要な場合、別室で対応できる。			
営	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	*ミーティングを行い、1日の業務内容の確認、1日の振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	*保護者向け評価表を集計したものを全体で確認して改善を心がけている。改善するためにどうしたらよいか話し合っている。			

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	* ミーティングだけでなく、日ごろから意見交換ができる雰囲気づくりに努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		現在第三者による外部評価は行えていないため、検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	* 研修に積極的に参加し、参加した職員によるフィードバックを実施することで全職員の資質の向上を図っている。	
適 切 な 事	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	* 職員で話し合って作成した、支援プログラムを法人内でも共有し、ホームページにて公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	* 指導発達支援管理責任者だけでなく、直接支援職員への聞き取りなども行い、個別支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	* 計画の内容を全職員で共有し、支援にあたっている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	* 事業所内で決められたフォーマットを利用し、アセスメントを行い、さらには多角的な視点から行動観察ができるよう努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	* 各項目を踏まえて利用児に必要な支援内容を設定している。	

× 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	* 週間で活動内容を話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	* 活動が固定化しないよう立案している。 * ひと月の中でなるべく同じにならないようにしたり、活動の中でもレベルアップするように意識している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	* 子どもの状況に合わせて集団活動と個別活動を組み合わせて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	* 朝のミーティングで個々の配慮すべき点や、活動の目的など必ず特記事項を話し合う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	* 夕方のミーティングでは、1日の振り返りや対応困難事例を共有し、対応を検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	* 朝夕のミーティングで利用児の様子を振り返っている。 * 個人の特記事項や保護者の方からの共有事項、保育園からの伝達なども記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	* 基本的には児童発達支援管理責任者が参画しているが、会議前に直接職員に聞き取りを行い、よく理解した上で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		

関係機関や保護者との連携

26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	* 地域に移行できるよう、保育所や幼稚園と連携し、支援内容や課題などの共有を行っている。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	* 移行期には事業所での様子などを書面にて共有したり、会議を行っている。	
28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/	/		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%		現在、行えていないので今後は検討していきたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		地域の中で他の子どもたちとの交流は行えていないのが現状。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	* 日ごろからコミュニケーションをとり、事業所での様子などをしっかりお伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		家庭での接し方などはアドバイスさせていただいておりますが、今後はご家族向けの研修などもご案内できるようにしたいと思う。

保護者への説明等

35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	* 契約時に契約書と重要事項説明書を見ながら説明している。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	* 利用児が未就学児の為、子どもの意向確認は難しい場合もあるが、家族の意向はしっかり確認する機会を設けている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	* 個別支援計画を提示しながら、丁寧な説明を心がけている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	* 適宜面談を行い、助言などをさせていただいている。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		以前は法人単位での保護者の交流の場を設けていたが、現在は市内で活動しているきょうだい児サークルの案内のみになっている。 駐車場や場所の確保などを検討し、以前行っていた交流の場を再開したいと思う。
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	* 連絡帳への記載や送迎時に申し入れがあった場合にも共有している。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	* 月1回HPで活動内容を写真付きでわかりやすく掲載している。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	* 個人情報は鍵付き書庫にて保管している。写真の掲載に関しては同意書をいただいている。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	* わかりやすく情報伝達ができるよう口頭だけでなく、文書や写真などのツールを用いてお伝えしている。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		地域住民との交流などは行えていないため、地域に開かれた施設運営を目指していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	* 各種マニュアルを策定し、全職員が周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	* BCPに基づき、訓練を行っている。また、各委員会で定期的に見直しを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	* 契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0%	100%		アレルギーに関しては、契約時に聞き取りを行い、それに基づいて対応している。必要に応じて医師の指示書の提出などもお願いしていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	* 安全計画を策定し、それに基づき訓練や点検を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	* 安全計画の内容を契約時にお渡しするしおりに記載し、お知らせしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	* 報告書を作成し、管理者会議で報告、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	* 虐待研修に参加した職員による、事業所内研修を行い、正しい知識のもと適切な対応ができるよう努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		